

梅原猛と仏教の思想

すがわら

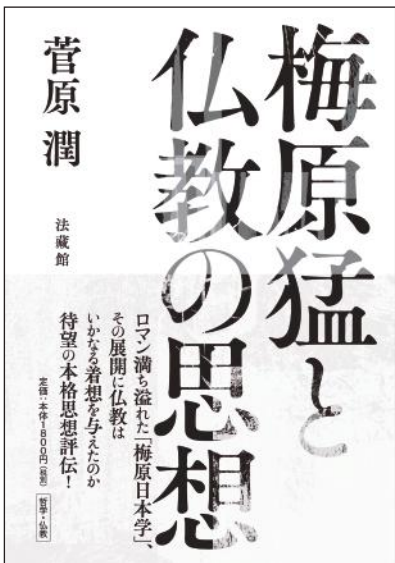
じゅん

菅原

潤著

▼46判・並製カバー・256頁・定価一、九八〇円

2022年6月刊行



ロマンに満ち溢れ、多くの文化人を魅了してきた「梅原日本学」。その展開に仏教はいかなる着想を与えたのか。待望の本格的な思想評伝！

【目次】

序章 仏教思想家として梅原猛を読む

梅原猛は「哲学者」なのか／新旧京都学派との関係／和辻哲郎との違い／顕密体制の観点の欠如／本書の構成

第一章 闇から笑いへ…哲学修業時代

オタクな少年時代／敗戦直後の哲学科で／山内得立との関係／感情への注目／流転のロゴス／笑いの六つの定式／九鬼周造との関係

第二章 仏教の思想…上山春平との共同研究

新京都学派との出会い／上山との関係／地獄の思想と生命の思想／「仏教の思想」のねらい／官能性を肯定する密教／ニーチェ的な仏教／日蓮・親鸞・道元との関係／和辻の博士論文／文芸的な仏教理解へ／無の思想の正体／鈴木大拙への批判／文学者からの評価

第三章 古代史から人類哲学へ…独自路線の模索

古代史への関心／水戸学と国学の忌避／仏教から照葉樹林文化へ——上山春平の世界史的立場／文明の生態史観とパースの結合——上山の課題／陰謀論への傾斜／芸術畑からの反応／古代史からアイヌへ／小麦文明への対抗心／太陽神への注目／多神教対一神教——「文明の衝突」？／「近代の超克」との類似性／上山による梅原評

第四章 「日本学派」の思想…国際日本文化研究センターの人脈

オルガナイザーとしての卓越した手腕／初代所長に就任するまで／反ナショナリストの気概／人事・組織の特徴／三人の所長経験者／海域交流の視点／「身内」からの陰謀論批判／人文研との違い

第五章 空海から法然へ…仏教研究の転換

最澄への新たな関心／空海研究の困難さ／天台本覚思想への注目／中国浄土思想の系譜／聖徳太子の影響／上山の最澄観との違い

／親鸞の取り扱い／『歎異抄』の抱える問題／法然を中心とする日本仏教／清僧のイメージの払拭／二種廻向について／往相即還相について／浄土を信じない現代人／諸刃の剣としての本覚思想

終章 顕密体制論と神仏融合…近年の研究との比較

歴史学者ではない／日本文化と仏教の思想／哲学者というよりは思想家／上山による唯識の哲学的解釈／暁烏敏批判と官能性の肯定／顕密体制論とは何か／顕密仏教と両立可能な悪人正機説／建永の法難について／アマテラスと大日如來の習合／神仏融合へ

あとがき

◆著者略歴

菅原 潤(すがわら じゅん)
一九六三年宮城県仙台市に生まれる。一九九六年東北大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学。博士(文学)。佐賀大学助教授、長崎大学教授を経て、二〇一五年より日本大学工学部教授。
著書に『シェリング哲学の逆説 神話と自由の間で』(北樹出版)、『近代の超克「再考」(晃洋書房)、『弁証法とイロニー 戦前の日本哲学』(講談社選書メチエ)、『京都学派』(講談社現代新書)、『上山春平と新京都学派の哲学』(晃洋書房)などがある。

注文書	
(書店印)	
ご担当	様冊
菅原 潤著	法藏館
梅原猛と仏教の思想	定価一、九八〇円
ISBN:978-4-8318-5570-1 C0010	住所
お名前	お電話

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

仏教・哲学